

I 安定した雇用をつくる

産業プラザ運営費

【小中学生向けロボット プログラミング教室】

【市内高校生と会津大学との交流事業】

若者定着産業力強化事業			
事業番号 3	UIJターン就活促進事業	決算額	330 千円
		所管課	商工課
財源内訳	国県	186 千円	市債 千円 その他 千円 一般 144 千円
[主な事業内容と成果] 地元企業の人材確保とともに、定住と就職の促進を図るため、首都圏でのイベント参加や大学訪問、UIJ希望者が市内で面接を行う際の交通費を補助した。 ○大学訪問・支援機関訪問 首都圏の大学で、ふるさと福島就職情報センターを訪問し、市内企業の採用情報や父兄賞補助金について周知を図った。 ○交通費補助金 UIJターン希望者が市内で面接を行う際の交通費に対して補助金を交付した。(7件、66,500円) ○LINEによる情報発信 市内企業の情報発信として、採用情報や企業紹介などを毎月発信した。また、イベント情報なども合わせて発信した。			

若者定着産業力強化事業			
事業番号 4	若者Uターン・地元定着促進事業	決算額	8,550 千円
		所管課	商工課
財源内訳	国県	千円	市債 千円 その他 4,330 千円 一般 4,220 千円
[主な事業内容と成果] (一社)産業サポート白河に委託し、企業情報の収集・発信を行い、新規顧客の開拓や若者の地元企業への就職を促進した。また、平成29年度から県南8町村とも連携し、定住自立圏の枠組みで人材不足対策や事業承継支援策を実施した。 ○地元企業の人材不足対策 - 企業データベース整備事業 「しらかわ企業データベース」により、しらかわ地域の企業情報を広く配信した。(登録企業数:276社) - しらかわ企業ガイドブック2020制作事業 しらかわ地域の企業を紹介する「しらかわ企業ガイドブック」のリニューアルを行った。ガイドブックでは生產品なども含めた会社情報を紹介するほか、今回から新たに福利厚生や初任給などの採用情報を掲載した。 これにより学生などが就職活動するうえで必要とする情報を一元的に得ることが可能となり、地元企業への就職促進が期待される。(作成部数:2,000部) ○事業承継支援事業 経済を支えるキーマンともいえる地元中小企業の存続と発展のため、事業承継への早期取組みの重要性が高まっていることから、市内の中小企業経営者や金融機関担当者等を招いてセミナーを開催した。(参加人数:36名)			

地方創生推進交付金事業

事業番号 5	しらかわ地域ものづくり高度化・海外展開促進事業	決算額		23,408 千円	
		所管課		商工課	
財源内訳	国県	9,281 千円	市債	千円	その他 4,845 千円 一般 9,282 千円

[主な事業内容と成果]

産業サポート白河に委託し、しらかわ地域のものづくり企業が抱える経営課題等に対してきめ細やかな支援(伴走型支援)を行う体制を整備するとともに、地域の資源や産業の強みを活かした「ものづくり高度化」や「海外展開」などを促進した。

- 経営改善指導事業
 - ・企業訪問による情報収集、課題の抽出・整理
- しらかわ型5S推進事業
 - ・参加企業:18社
 - ・インストラクターによる企業訪問、座学研修:全11回
- 産業技術高度化講習事業
 - ・ものづくり講習会の実施 14講座 参加者延べ199名
- 大規模見本市出展事業
 - ・第23回機械要素技術展出展 出展社数:5社+産業サポート白河



【ものづくり講習会(産業技術高度化講習)】

IT関連創業者発掘事業

事業番号 6	コワーキングスペース「らくり」運営事業	決算額		5,783 千円	
		所管課		商工課	
財源内訳	国県	3,698 千円	市債	千円	その他 329 千円 一般 1,756 千円

[主な事業内容と成果]

市内での創業を促進するため、創業間もない方等に手軽に利用できるコワーキングスペースを提供した。また、利用者には常駐するインキュベーションマネージャーが伴走型で支援することで市内での創業を推進した。

- 利用状況(令和2年3月末時点)
 - ・指定席2人、自由席4人
 - 起業セミナーの開催
- 先輩起業家を招いたセミナーを開催し、創業機運の醸成を図るとともに、利用者やセミナー参加者のマッチングを行い、新事業の促進を行った。

- (1)6月14日(金)開催
 - 参加者:24名
- (2)8月30日(金)開催
 - 参加者:13名
- (3)12月13日(金)開催
 - 参加者:8名
- (4)令和2年2月6日(木)開催
 - 参加者:4名



【コワーキングスペース外観】



【起業セミナーの様子】

白河の大地が君を待つ！就農全力バックアップ事業				
事業番号 7	がんばる新規就農者支援事業		決算額	5,900 千円
			所管課	農政課
財源内訳	国県	千円市債	千円その他	千円一般5,900 千円
[主な事業内容と成果] 経営が不安定な就農初期段階において、安定的かつ計画的に営農に臨めるよう、青年等就農計画書等で経営規模目標を達成するために導入すると定めた施設、機械等の導入経費を支援し、新規就農者の定着を図った。 ○ 補助実績 ・ 補助額 定額(1,500千円上限) ・ 補助件数 4件 ・ 補助金総額 5,900千円 ・ 導入した農業用機械等 田植機、軽トラック、パイプハウス、移植機等				

白河市産米消費拡大及び魅力発信事業				
事業番号 8	白河市産米消費拡大及び魅力発信事業		決算額	8,969 千円
			所管課	農政課
財源内訳	国県	3,000 千円市債	千円その他	千円一般5,969 千円
[主な事業内容と成果] 白河市産米の販路開拓等による安定的な需要確保のため、販売促進活動に加えて実際に白河市産米に触れる機会の創出及び誘導を図りながら地域イメージの確立に向けて米以外の農畜産物や歴史・文化などの市域資源とともに白河市産米の魅力を発信した。 ○委託料:6,985千円 旅費:384千円 負担金補助及び交付金:1,600千円 ○実施概要 ・首都圏及び市内において白河産コシヒカリの販売促進・PRイベントを開催。 ・首都圏等において開催される「食の商談会」に出展し白河産コシヒカリの売り込みを行った。 ・ギフト用(ウェディング、出産内祝)パッケージデザインを開発し、商談会等でPRを行った。 ・新米の時期に、メディアを対象に、白河市産米をメインとした食事会を開催。				
 【ヤフー(株)「白河フェア」】  【商談会でのギフト商品PR】  【分とく山での食事会】  【オレンジページ掲載記事】				

農畜産物6次化・ブランド化推進事業

事業番号 9	農畜産物6次化・ブランド化推進事業	決算額	1,782 千円					
		所管課	農政課					
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他	千円	一般	1,782 千円

[主な事業内容と成果]

白河市産の農畜産物を主な原材料とした新商品の開発(商品のネーミング、パッケージデザインの開発等を含む)や、新商品の販路開拓を行う取り組みなどに係る経費の一部を支援した。また、定住自立圏構想の取り組みとして「事業者向け6次産業に係る研修会」を開催した。

○ アグリビジネス連携補助金 補助実績 (補助率 2/3) (単位:千円)

事業名	補助上限額	補助実績額 (件数)	事業の内容
新商品 事業化推進事業	800	800 (1件)	新商品の開発に向けた取組(商品のネーミング、パッケージデザイン開発等を含む。)に対する補助
新商品 販路開拓等事業	300	300 (1件)	新商品の販路開拓を行う取組及び新商品の販路開拓に必要な改良等(商品のネーミング、パッケージデザインの改良等を含む。)を行う取組に対する補助
合 計		1,100 (2件)	

○ 定住自立圏構想関連事業 (単位:千円)

事業名	事業負担金	事業の内容
事業者向け6次産 業に係る研修会	128	6次産業のコンサルタント企業関係者を講師として招き、6次化商品の開発等に係る研修会を2回開催した。 ①売れる6次化商品・農産物加工品の作り方セミナー ②クチベタでも大丈夫。イベント販売成功の秘訣セミナー

Ⅱ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

※事業費は決算ベース

地域振興一般管理費

事業番号 1	「ふれあいの場」創出事業			決算額	500 千円																																											
				所管課	生活防災課																																											
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他	千円	一般	500 千円																																								
[主な事業内容と成果] 定住自立圏の広域的な範囲で「ふれあいの場」創出事業を実施することにより、多くのカップル誕生を図るとともに、少子化対策と定住自立の促進を図ることを目的とし、県南9市町村を対象に世話やき人セミナーを1回、出逢い創出パーティーを6回実施した。パーティーには延べ240人の参加があり、52組の男女が互いに好印象を持ち、出会いのきっかけ作りとなった。 ○決算額 7,016千円(市負担金500千円) ○出逢い&ふれあいの会(世話やき人セミナー及び出逢い創出パーティー) <table><tr><th></th><th>セミナー</th><th>パーティー①</th><th>パーティー②</th><th>パーティー③</th><th>パーティー④</th><th>パーティー⑤</th><th>パーティー⑥</th></tr><tr><td>開催日</td><td>8月25日</td><td>7月27日</td><td>8月3日</td><td>9月15日～16日</td><td>11月30日</td><td>2月1日</td><td>2月8日</td></tr><tr><td>開催場所</td><td>棚倉町</td><td>棚倉町</td><td>白河市</td><td>西白河郡内</td><td>西郷村</td><td>白河市</td><td>棚倉町</td></tr><tr><td>参加人数</td><td>37人</td><td>37人</td><td>29人</td><td>30人</td><td>74人</td><td>34人</td><td>36人</td></tr><tr><td>カップル数</td><td></td><td>8組</td><td>8組</td><td>8組</td><td>18組</td><td>3組</td><td>7組</td></tr></table>										セミナー	パーティー①	パーティー②	パーティー③	パーティー④	パーティー⑤	パーティー⑥	開催日	8月25日	7月27日	8月3日	9月15日～16日	11月30日	2月1日	2月8日	開催場所	棚倉町	棚倉町	白河市	西白河郡内	西郷村	白河市	棚倉町	参加人数	37人	37人	29人	30人	74人	34人	36人	カップル数		8組	8組	8組	18組	3組	7組
	セミナー	パーティー①	パーティー②	パーティー③	パーティー④	パーティー⑤	パーティー⑥																																									
開催日	8月25日	7月27日	8月3日	9月15日～16日	11月30日	2月1日	2月8日																																									
開催場所	棚倉町	棚倉町	白河市	西白河郡内	西郷村	白河市	棚倉町																																									
参加人数	37人	37人	29人	30人	74人	34人	36人																																									
カップル数		8組	8組	8組	18組	3組	7組																																									

母子健やか支援事業

事業番号 2	母子健康支援事業			決算額	2,162 千円	
				所管課	こども支援課	
財源内訳	国県	1,182 千円	市債	千円	その他	千円
					一般	980 千円

[主な事業内容と成果]

妊娠・出産・育児に関する総合的な相談や支援を提供する子育て世代包括支援センターを設置し、切れ目のない支援に努めた。
さらに、「親子の愛着形成」や「妊娠期からの子どものメディア依存の予防」、「生活リズムを整えることの重要性」の意識を醸成し、親の育児力アップと育児の負担感の軽減を図るため子育てスキルアップ事業を開始した。

母子健康手帳交付数 384件
父子健康手帳交付数 379件

○育児支援事業 (単位:回、人)

教室名	実施回数	参加者数
パパママ教室	3	77
離乳食相談会	28	52
すくすく広場	11	246
子育て広場	5	53
おひさま広場育児相談	7	179



【乳幼児健診時集団教育】

○子育てスキルアップ事業 (単位:回、人)

事業名	実施回数	参加者数
わくわく子育て教室	3	101
乳幼児健診時集団教育	32	1,932
園児保護者向講演会	5	154

母子健やか支援事業

事業番号2	乳幼児健康診査事業			決算額	8,697 千円			
				所管課	こども支援課			
財源内訳	国県	929 千円	市債	千円	その他	801 千円	一般	6,967 千円

[主な事業内容と成果]

乳幼児の病気の予防と早期発見、健康の保持・増進及び子育て支援を目的に、月齢に合わせて健康診査を実施するとともに、未受診者には保健師が訪問し受診勧奨や発達の確認を行った。
さらに、ことばの遅れや発達の心配、育児不安等に対応して、言語聴覚士や臨床心理士による相談支援に努めた。

(単位:人)		
健診名	対象者数	受診者数
4か月児健康診査	417	408
1歳児健康診査	452	448
1歳6か月児健康診査	429	428
2歳児健康診査	440	433
3歳児健康診査	477	467
合 計	2,215	2,184

(単位:人)		
事業名	実施回数	参加者数
ことばの相談	12	47
心理相談	48	100

母子健やか支援事業

事業番号2	妊産婦健康診査事業			決算額	44,763 千円			
				所管課	こども支援課			
財源内訳	国県	1,028 千円	市債	千円	その他	千円	一般	43,735 千円

[主な事業内容と成果]

○妊産婦健康診査事業

妊娠出産を支援するため、妊婦健診を15回(妊娠前期1回、妊娠後期1回、その他13回)、産後1か月健診1回の費用を助成し、異常の早期発見と保健指導を行った。

(単位:人)					
健診時期	妊娠前期	妊娠後期	その他健診	産後1か月	合計
受診者数	364	348	3,543	354	4,609

○新生児聴覚検査事業

聴覚障がいを早期に発見し、できるだけ早い段階で適切な療育が受けられるようにするため、検査費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図った。

(単位:人)	
検査受診者	358

○産後ケア事業

産後一年以内の母子に対し産後の疲労回復や、母乳育児不安等に対する様々な悩みの解消のため、福島県助産師会に委託し、宿泊や日帰りで助産施設を利用する費用の一部を助成し経済的負担の軽減を図った。

(単位:人)		
種別	日帰りケア	宿泊ケア
件数	10	4

地域子育て支援拠点事業

事業番号 3	地域子育て支援拠点事業				決算額	12,497 千円		
					所管課	こども支援課		
財源内訳	国県	8,330 千円	市債	千円	その他	千円	一般	4,167 千円

[主な事業内容と成果]

乳幼児とその保護者が気軽に集い、語り合い、交流する場を開設し、子育てについての相談、子育て情報の提供を行った。

〈補助率〉 国補助金 1/3 県補助金 1/3

〈利用実績〉 (単位: 日、人)

利用状況					
施設	開設日数	利用人数			
		子ども	大人	合計	1日平均
おひさまひろば	250	3,850	3,367	7,217	29
赤ちゃんひろば(本町)	44	564	565	1,129	26
大信子育て広場	82	830	514	1,344	16
たんぽぽサロン	129	1,051	737	1,788	14
赤ちゃんひろば(大沼)	33	341	345	686	21
おでかけたんぽぽ	81	785	624	1,409	17
合 計		7,421	6,152	13,573	

〈歳出決算内訳〉 (単位: 千円)

事業内容	事業費
委託料	12,497

特定不妊治療費用助成事業

事業番号 4	特定不妊治療費用助成事業			決算額	3,873 千円			
				所管課	こども支援課			
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他	千円	一般	3,873 千円
[主な事業内容と成果]								
特定不妊治療、男性不妊治療を行った場合、治療に要した費用の一部を助成した。 (1回の治療につき、5～10万円の助成を実施)								
(単位:件、千円)								
助成件数			助成額					
47			3,873					

病児保育事業

事業番号 5	病児保育事業				決算額	16,361 千円							
					所管課	こども育成課							
財源内訳	国県	6,054 千円	市債	千円	その他	8,896 千円	一般	1,411 千円					
[主な事業内容と成果]													
病気または回復期にある保育園等に通園している園児について、集団保育や家庭での保育ができない期間、一時的に預かり保護者の保育に対する負担軽減を図る。													
(単位:千円)													
事業名	内 容		事業費	財源内訳									
				国県	市債	その他	一般						
病児保育事業	・光熱水費 ・手数料 ・警備委託料 ・運営委託料 など		16,361	6,054		8,896	1,411						
(単位:人)													
利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	23	6	20	32	16	19	16	22	16	15	12	10	207

認定こども園整備事業

事業番号 6	認定こども園整備事業				決算額	60,757 千円		
					所管課	こども育成課		
財源内訳	国県	40,029 千円	市債	15,700 千円	その他	3,900 千円	一般	1,128 千円

[主な事業内容と成果]

学校法人熊田学園が創設する認定こども園に対して、建設費の一部を補助し保育施設の待機児童解消を図る。
(R1・R2の2ヵ年事業)

(単位:千円)

事業名	内 容	事業費	財源内訳			
			県	市債	その他	一般
認定こども園整備事業 (保育園部分)	負担金補助及び交付金	60,757	40,029	15,700	3,900	1,128

認定こども園整備事業

事業番号 6	認定こども園整備事業				決算額	29,001 千円		
					所管課	こども育成課		
財源内訳	国県	19,334 千円	市債	7,700 千円	その他	1,900 千円	一般	67 千円
[主な事業内容と成果] 学校法人熊田学園が創設する認定こども園に対して、建設費の一部を補助し保育施設の待機児童解消を図る。 (R1・R2の2ヵ年事業)								
(単位:千円)								
事業名	内 容	事業費	財源内訳					
			県	市債	その他	一般		
認定こども園整備事業 (幼稚園部分)	負担金補助及び交付金	29,001	19,334	7,700	1,900	67		

学校図書館利活用推進事業				
事業番号 7	学校図書館利活用推進事業		決算額	32,285 千円
			所管課	学校教育課
財源内訳	国県	千円市債	千円その他	70 千円一般 32,215 千円

[主な事業内容と成果]

市立図書館を拠点とした学校司書の配置は、令和元年度に市内全ての小中学校に完了した。令和元年度には、新たに白河第二中学校と東北中学校に配置し、学校図書館を整備するとともに本の貸し出しを電子化した。学校司書が学校図書館に存在することで、児童・生徒が本と出会い、読書をする環境づくりを推進し、児童・生徒が読書の楽しさを実感できる機会を増やすことができた。学校司書を配置したことで、学校図書館が「読書センター」「情報センター」「学習センター」としての機能を果たした。

(単位:千円)

事業内容	事業費
共済費・社会保険料	3,614
賃金	23,379
旅費	3
需用費	2,718
使用料及び賃借料	2,074
備品購入費	497
合計	32,285



【学校図書館担当・学校司書研修会(小野田小)】

					教育振興費			
事業番号 8	白河の歴史文化再発見事業			決算額	766 千円			
				所管課	学校教育課			
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他	千円	一般	766 千円

[主な事業内容と成果]

小学校15校の学習成果を4回に分けて市立図書館ロビーに掲示した。

○学習内容

小学1年生は地域のお年寄りの協力のもと、昔遊びを体験した。小学2年生は「しらかわ語りの会」などの外部講師の協力により昔話などの読み聞かせを行った。小学3年生は表郷の「鈴木家住居」を訪問し、4年生は社会科の学習と関連付けて、地域の昔のくらしや開拓などを調べてまとめた。小学5年生は白河茶道連盟や翠楽苑の協力を得て茶道体験を行い、伝統文化にふれた。小学6年生は小峰城・小峰城歴史館を中心とした白河の歴史を学んだり中山義秀記念文学館を訪問したりした。

(単位:千円)

事業内容	事業費
需用費	23
使用料及び賃借料	743
合 計	766



【5学年茶道体験(翠楽苑)】

事業番号 9	土曜学習推進事業		決算額	267 千円
			所管課	学校教育課
財源内訳	国県	千円市債	千円その他	千円一般 267 千円

[主な事業内容と成果]

中学校区ごとに小学生から希望を募り、土曜日に自主学習の場を設け、指導員が質問に答えたり一緒に考えたりすることで、できる喜びや分かる楽しさを経験させ、学習意欲の向上につなげた。

白河中央中学校区、東北中学校区、表郷中学校区、大信中学校区、東中学校区に白河第二中学校区を加えた6地区で、それぞれ年7回ずつ開催した。

(単位:千円)

事業内容	事業費
報償費	181
旅費	45
需用費	41
合 計	267



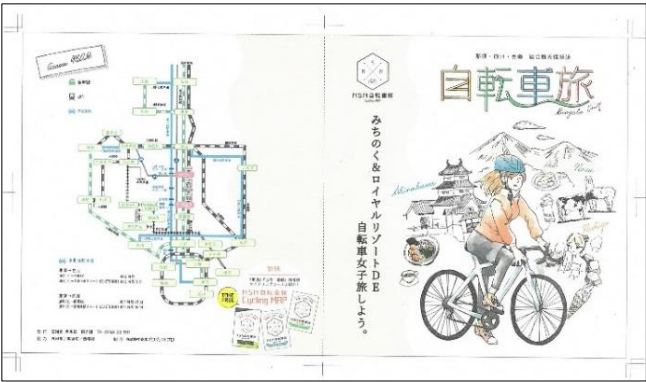
【白河中央中学校における土曜学習会】

Ⅲ 新しいひとの流れをつくる

※事業費は決算ベース
観光イベント事業

事業番号 1	しらかわキャラ市支援事業			決算額	9,500 千円
				所管課	観光課
財源内訳	国県	千円市債	千円その他	千円一般	9,500 千円
[主な事業内容と成果] ふくしまの子ども達に笑顔を届け、本県の元気を全国に発信することを目的に、全国のご当地キャラクターと本県のこども達が触れ合う「しらかわキャラ市」を開催する実行委員会に対し補助金を交付し、県南地方の活性化と持続的な発展、観光客の誘致促進を図った。 令和元年度は、石垣の復旧が完了した小峰城跡で実施し、天候にも恵まれ、多くの来場者で賑わいをみせた。 開催日：9月28日(土)・29日(日) 開催場所：小峰城跡 参加キャラクター：97キャラ(団体) 東北地方最大のご当地キャライベント 来場者数：72,000人(2日間合計)  【しらかわキャラ市】					

サイクルツーリズム推進事業(地方創生推進交付金事業)

事業番号 2	サイクルマップ作成事業			決算額	1,314 千円
				所管課	観光課
財源内訳	国県	657 千円市債	千円その他	千円一般	657 千円
[主な事業内容と成果] 既存のサイクリスト向け広域パンフレットである「自転車旅」を基に、女性サイクリスト目線によるパンフレット「自転車女子旅」を新たに作成した。各市町村内のカフェを中心に記載することで、女性サイクリスト層の獲得効果が図られる。   【自転車女子旅パンフレット】 【白河市内紹介ページ】					

サイクルツーリズム推進事業(地方創生推進交付金事業)

事業番号 2	国内向けプロモーション事業		決算額	2,201 千円
			所管課	観光課
財源内訳	国県	1,024 千円	市債	千円
			その他	千円
			一般	1,177 千円

[主な事業内容と成果]

「サイクルモードインターナショナル」(幕張)への参加や、やまなみ周遊ルートツアーを実施した。後者では那須ブラーゼンの選手及び自転車ブロッガーMIHO氏を招聘することで、国内サイクリストへのPR効果が図られた。

- ・日 時: 11月2日～4日(幕張メッセ)
- ・来場者数: 25,810人
- ・出展団体: 197団体

- ・第1回: 9月21日
- ・第2回: 10月26日
- ・第3回: 11月23日



【サイクルモードインターナショナル2019】



【やまなみ周遊ルートツアー】

サイクルツーリズム推進事業(地方創生推進交付金事業)

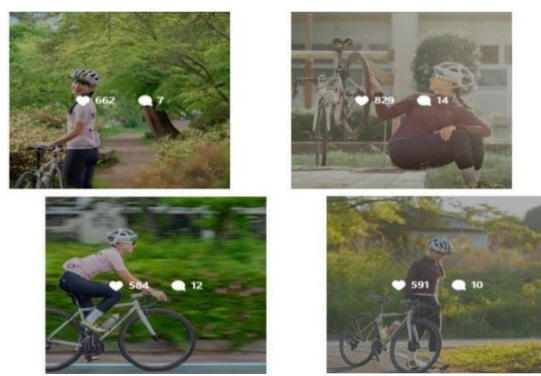
事業番号 2	インバウンド観光推進事業		決算額	2,030 千円
			所管課	観光課
財源内訳	国県	1,015 千円	市債	千円
			その他	千円
			一般	1,015 千円

[主な事業内容と成果]

台湾の人気サイクリスト・インフルエンサーであるリンダ氏を招聘し、やまなみ周遊ルートモニターツアーを実施した。フォロワー数1万人超のリンダ氏のインスタグラムに9枚の写真が投稿され、全ての写真で500件以上の「いいね」を獲得し、インバウンド誘客効果が得られた。



【南湖公園の湖畔を走るリンダ氏】



【インスタグラム投稿内容】

インバウンド推進事業

事業番号 3	アジアインバウンド誘致事業			決算額	6,830 千円			
				所管課	観光課			
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他	千円	一般	6,830 千円

[主な事業内容と成果]

ラグビーワールドカップや東京オリンピックの開催で交流人口が今以上に活発化されることから、本市の美しい自然、伝統文化、食、モノなど、全国に誇れる観光資源を、電子雑誌やパンフレットに掲載することで、国内外に向けて強く情報発信することにより、本市への誘客の促進、観光消費額の増大を図った。

○電子雑誌「旅色」(国内版、台湾版)に掲載

※旅色・・・自分らしさと美を求める大人の女性に、上質な時間を届け、新しいスタイルを発信する無料の電子雑誌

○冊子を作成(日本語版10,000部、台湾版5,000部)して、県内外のイベントや福島空港利用者に直接手渡しで配布した。



【旅色(日本語版)】



【旅色(台湾版)】



【市観光施設紹介ページ】

小峰城跡ホープツーリズム拠点整備事業(地方創生拠点整備交付金事業)

事業番号 4	小峰城跡ホープツーリズム拠点整備事業	決算額	千円					
		所管課	文化財課					
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他	千円	一般	千円

[主な事業内容と成果]

国指定史跡「小峰城跡」の震災による石垣復旧工事が完了する平成31(令和元)年に向け、「白河集古苑」のガイダンス機能の整備を行い、市の歴史・文化財の情報発信の拠点とし、文化財を活用したホープツーリズムを推進するための施設として整備した。



【増築部分外観】



【小峰城ガイダンス展示】



【増築部分ロビー】

(単位:千円)

事業名	内 容	事業費	財源内訳			
			国	市債	その他	一般
小峰城跡ホープツーリズム拠点整備事業	・集古苑増改築 ・小峰城ガイダンス展示製作	304,769	152,320	122,400		30,049

しらかわ地域観光交流拠点整備事業(地方創生拠点整備交付金事業)

事業番号 5	二ノ丸御休処施設運営事業	決算額	千円
		所管課	観光課
財源内訳	国県 千円 市債 千円 その他 千円	一般	0 千円

[主な事業内容と成果]

国指定史跡である「小峰城」を含む城山公園内に立地する「二ノ丸御休処」において、市の特産品等を使用した物販や飲食の更なる充実を図るため、物販ブースと飲食ブースを区分するなど施設の増改築を行い、白河観光物産協会が運営を行っている。

施設来店者数 55,075人(改修前 39,054人)
※16,021人の増加(目標 13,546人の増加)

施設売上高 25,328千円(改修前 15,416千円)
※9,912千円の増加(目標 9,528千円の増加)

施設雇用者 8人(改修前 6人)
※2人増加(目標 1人の増加)



【二ノ丸御休処】

空き家対策事業

事業番号 6	空き家対策管理事務	決算額	1,982 千円
		所管課	まちづくり推進課
財源内訳	国県 千円 市債 千円 その他 千円 一般 千円		1,982 千円

〔主な事業内容と成果〕

平成28年11月より運用開始となった空家バンクの運営等を通して空き家の利活用を促進することで、良好な住環境の確保を図る。

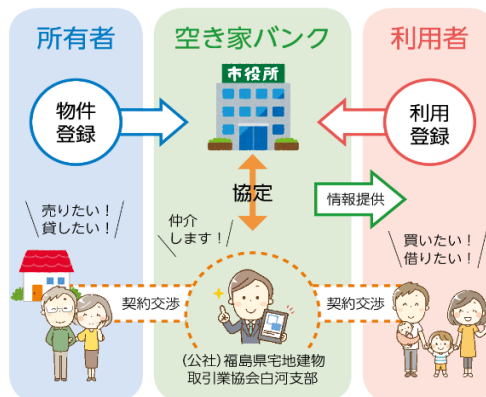
○空家バンク制度の運営

公益社団法人福島県地建物取引業協会白河支部と協力し、空き家の中古住宅市場への流通の促進を図るため、空家バンクを運営した。
(令和元年度までの実績)

物件登録者数 50件 利用登録者数 90件
契約件数 20件(売買13件、賃貸7件)

○空家改修等支援補助事業(令和元年度の補助実績)

改修補助1件(実績額1,500千円)



【空家バンク制度】

シティプロモーション推進事業

事業番号 7	シティプロモーション推進事業	決算額	3,469 千円					
		所管課	企画政策課					
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他	千円	一般	3,469 千円

[主な事業内容と成果]

- シティプロモーション推進事業委託料 3,465千円
- その他経費 4千円

＜職員向けセミナーの開催＞

シティプロモーションの重要性と必要性について市全体が統一的な共通認識を持ち、様々な情報発信に取り組めるよう、市職員を対象としたセミナーを開催。シティプロモーションの課題やSNSを活用した広報等について学んだ。

＜市民向けセミナーの開催＞

日常の情報収集の手段としてSNSが主流となっていることから、特に写真による訴求力に優れたInstagramに関するセミナーを開催。市民に白河の魅力を再発見してもらおうとともに、実際にSNSを用いて情報発信を行った。

- ・開催日：令和2年2月8日（土）
- ・講師：魅せるプロデューサー 本多美香氏
- ・参加者：43人

＜白河魅力向上プロジェクト＞

若者世代の白河市への愛着、誇りの醸成のため、白河市出身の高校生と大学生が主体となったプロジェクトを発足。白河の魅力を発信するための視点やヒントを学べるよう活動支援をした。活動内容をテレビ番組「僕らは伝えたい # 白河街歩き写真館」として放映した。



【市民向けInstagramセミナー】



おかえり、白河
はじめてでも ながしい

【シティプロモーションロゴ】

地域おこし協力隊活用事業

事業番号 8	地域おこし協力隊活用事業			決算額	6,815 千円			
				所管課	企画政策課			
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他	15 千円	一般	6,800 千円

[主な事業内容と成果]

地域おこし協力隊は、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度である。隊員が一定期間地域に居住し、地場商品の開発・PR、農林業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、定住・定着を目指し、地域の振興・活性化を図る取り組みである。白河地域、表郷地域、大信地域で各1名の隊員が活動を行った。また、県との協同による伝統産業（白河だるま）継承のための協力隊及び東地域協力隊の募集を行ったが、採用には至らなかった。

- 嘱託職員賃金 3,278千円
- 地域支援補助金 2,708千円
- その他経費 829千円

＜地域おこし協力隊 小倉宗則＞（白河地域）

活動内容（任期：H30.5.1～H31.4.30）

- ・マイタウン白河を活用したイベントの企画運営、情報発信
- ・中心市街地活性化

＜地域おこし協力隊 飯塚俊輔＞（表郷地域）

活動内容（任期：H30.7.1～活動中）

- ・情報発信（新聞、ブログ、ツイッター、ドローン等）
- ・小中学校の学習支援
- ・他地域おこし協力隊との交流

＜地域おこし協力隊 嶋本雅之＞（大信地域）

活動内容（任期：H29.5.1～R元.9.23）

- ・CoderDojo白河の企画運営
- ・イベントの補助



【プログラミング道場『CoderDojo白河』】 【災害状況をドローンで撮影】 【表郷中学校学習会の様子】

事業番号 9	まちづくり・ひとづくり事業			決算額	7,560 千円			
				所管課	企画政策課			
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他	千円	一般	7,560 千円

[主な事業内容と成果]

将来を担う若者の考えや感性を積極的に地域づくりに取り入れるため、高校生をはじめとした多くの若者が集える場である、「コミュニティ・スペース」の運営を行った。

○コミュニティ・スペース運営委託料 7,560千円（委託先：一般社団法人 未来の準備室）

○地域を題材にした高校生ライターの活動

白河地域の高校生による白河の魅力の発見・発信を支援するとともに、地域の人材との交流を創出した。また、高校生ライターに対し、フリーペーパーやウェブページの作成、地域の取材活動のノウハウなど技術的助言を行った。

○学習・キャリア形成支援

高校生等の進路相談に応じるとともに、イベントを通じて、専門性を活かした多様なキャリアや、地元に着目し地域を盛り上げるキャリアを持つ社会人・大学生と交流する機会を創出した。

○各種イベントの開催

- コミュニティスペースを活用し、若者、地域人材の交流を創出した。
- ・コミネス館長によるクリエイティブゼミ
- ・地域住民との協働イベント(選挙デビュー講座、alt_cafe等)
- ・料理づくりイベント(EMANONバーベキュー、もちつき大会等) 他



【高校生のための進路相談カフェ】